

## 短い秋になりそうです～「〇〇の秋」とは～

校長 竹中 朝崇

9月号の冒頭は『「暑い夏でした。」と言いたいところですが、「まだ夏は続きます。」と表現した方が良くありません。』でした。この猛暑はいつまで続くのだろうと思いましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」という表現がぴったりで、ようやく暑さの峠を越え、秋を迎えようとしている感じです。秋になると言えば学校前の銀杏の木々。ふと見上げると「ぎんなん」がたわわに実り垂れ下がっています。本校の名物の一つあの「におい」の季節になりました。これから少しずつ気温が下がってきて秋本番を迎えてきますが、季節の変わり目は体調を崩しやすいものです。引き続き、体調管理を徹底していきましょう。

ところで、秋分の日を過ぎると冬至に向かって日中の時間が短くなります。秋の夜長とはよく言ったもので、過ごしやすい季節を迎える中で何かに取り組みたいと考える人がいるでしょう。皆さんは「〇〇の秋」と言われた時、どのような言葉が浮かびますか。スポーツ・食欲・読書…、いろいろと思いつくかと思いますが、中にはこの時期にしかできないことだからといってすでにやりたいことが決まっている人はいませんか。そのような人はいい趣味をもってとても羨ましいですね。視野を広げるという意味でも自分自身が夢中になることができるものを探してみたいかでしょうか。ちなみに私は旅をすること、特に鉄道を使って旅をすることが好きです。今は時間を取ることができず難しいのですが、国内であっても各地を巡り文化や習慣の違いを知り、新しい発見ができるのは旅の良さであります。若い頃はお金が無くとも時間はいっぱいありました。「青春18きっぷ」を使って旅したことは私の良い思い出として今も残っています。話がそれてしまいましたが、この秋、自分の視野を広げる工夫をしてみませんか。「1日休養、1日教養」なんていかがでしょうか。

9月末に高校3年生は大切なテストが終わりました。すでに始まっている人がいるかもしれませんが、いよいよ本格的な受験期に入ってまいります。高校卒業後の進路の方向性は見えてきているでしょうか。生徒の皆さんは授業に限らず学校での様々な活動を通じて視野を広げてきたと思います。学びの意義を改めて考えながら、準備をしっかりと進路選択に臨んで欲しいものです。世の中には私も知らないことが数多くあります。いくつ年を重ねたとしても学ぶ姿勢は常に大切にしていかなければいけません。学びの意義を再度考えてみましょう。高校3年生の皆さん、「なぜ、その道を選ぶのですか？」

日が沈む時間が早くなりました。夕方の時間帯は事故が増えます。また灯りの少ない通りでは不審者に気をつけることも大切になります。登下校時のことは学校でも指導してまいります。ご家庭の方でも通学順路など再度確認していただきますようお願いいたします。